

引っ越すときは、 手続きをお忘れなく

水道の 使用開始と中止

引っ越すときは、水道の使用開始・中止の手続きをお願いします。使用中止の場合は、水道料金・下水道使用料の精算が必要になります。

●手続き

水道お客様センター（美原町、水道局）で受け付けます。

問い合わせ＝水道お客様センター（☎32 - 4314）

転出・転居の届け出

●市外へ引っ越すとき

引っ越す前に転出の届け出をしてください。転出証明書を交付します。

新しい住所地に住み始めた日から14日以内に新住所地へ転出証明書を提出し、転入の届け出をしてください。

●市内で引っ越すとき

新しい住所に住み始めてから14日以内にマイナンバーカード（持っている人のみ）を持参し、転居の届け出をしてください。

また、受給者証や資格確認証などに記載の住所を変更しますので、各担当課にお問い合わせください。

●手続き

市民課（市役所1階）、新里・黒保根支所市民生活課で受け付けます。

マイナンバーカード、運転免許証、パスポートなどの本人確認書類を持参してください。

●転出届・転入予約はマイナポータルで

マイナンバーカードを持っている人は、マイナポータルからオンラインで転出届と転入予約ができます。詳しくはマイナポータルやデジタル庁ホームページ（右の二次元コード）をご覧ください。

問い合わせ＝市民課住民担当
（☎32 - 3636）



子育て世帯

●児童手当を受給している人

児童手当受給事由消滅の届け出をしてください。転出先の市区町村で申請する際に必要な書類について説明します。

●児童扶養手当・特別児童扶養手当を受給している人

受給内容により手続きが異なりますので、子育て支援課へご連絡ください。届け出を受け付けるほか、転出先の市区町村で申請する際に必要な書類について説明します。

●手続き

子育て支援課（保健福祉会館1階）、新里・黒保根支所市民生活課で受け付けます。

問い合わせ＝子育て支援課子育て支援係（☎47 - 1150）

国民健康保険・福祉医療費 の手続きもお願いします

引っ越しや就職・退職したときの手続きは、自分で行う必要があります。なお、届け出は14日以内をお願いします。

引っ越ししたとき

	国民健康保険（国保）の被保険者	福祉医療費の受給者
市外へ引っ越し（転出）	転出届の際に、資格確認書を持っている人はお返しください。	・転出届の際に、受給者証をお返しください。 ・県内に転出する人には福祉医療費受給者証交付状況証明書を交付します。
市内で引っ越し（転居）	住所を書き換えますので、資格確認書を持っている人は持参してください。	住所を書き換えますので、受給者証を持参してください。
必要なもの	・マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類 ・資格確認書（持っている人のみ） ※修学のため転出し、引き続き桐生市の国保に加入する人は、学生証または在学証明書（合格通知書などでも可）も必要です。	・受給者証 ・マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類
手続き	市民課（市役所1階）、新里・黒保根支所市民生活課と境野・広沢・梅田・相生・川内・菱公民館で受け付けます。	医療保険課医療助成係（市役所1階）、新里・黒保根支所市民生活課で受け付けます。
問い合わせ	医療保険課国保係（☎44 - 8265）	医療保険課医療助成係（☎44 - 8267）

就職・退職したとき

手続き＝市民課（市役所1階）、新里・黒保根支所市民生活課、境野・広沢・梅田・相生・川内・菱公民館で受け付けます。

なお、国保離脱手続きのみ、下の二次元コードから申請することができます。

問い合わせ＝医療保険課
国保係（☎44 - 8265）



	国保に加入するとき （会社を退職したときなど）	国保から離脱するとき （会社に就職したときなど）
必要なもの	・社会保険離脱証明書（資格喪失証明書） ・マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類	・会社などの保険に加入した日が分かる書類（資格確認書、資格情報のお知らせなど） ・マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類 ・国保の資格確認書（持っている人のみ）

こんにちは
市長です



「Tsukurun KIRYU」
オープンから1年半

県内在住・在学の小・中高生向けデジタルクリエイティブ人材育成拠点である「Tsukurun KIRYU」が、オープンしてから早いもので1年半が経過しました。「習うより慣れよう 学ぶより遊ぶ」というコンセプトの下、楽しみながら創作活動ができるよう運営を行っており、現在までの利用者は延べ4000人を超え、会員は約600人となりました。施設では、技術を磨くことはもとより、地元の団体や企業などと連携した講座を開催することで、郷土愛あふれる人材育成も目指しております。

今月末には、昨年桐生に開校した、学校法人角川ドワンゴ学園のR高等学校との連携交流事業を開催する予定です。世界的にもハイレベルなeスポーツ部で、Tsukurun KIRYUの子どもたちが白熱した交流を繰り広げると思うと、今から大変楽しみです。

桐生市長 荒木 恵司